

(単位: 億円)

コンシューマー食品 合計	FY15 予想	FY14 実績	差額
売上高	9,072	6,731	2,340
日本食品	4,072	2,890	1,181
調味料・加工食品	2,042	1,962	79
冷凍食品(日本)	970	928	41
コーヒー類	1,059	-	1,059
飲料(「カルピス」)	-	-	-
海外食品	5,000	3,841	1,158
調味料・加工食品	3,157	2,725	432
冷凍食品(海外)	1,018	327	690
加工用うま味調味料・甘味料	824	788	35
営業利益	642	567	74
日本食品	279	248	31
調味料・加工食品	-	289	約20
冷凍食品(日本)	-	33	約5
コーヒー類	-	-	-
飲料(「カルピス」)	-	-	-
全社共通費	▲ 95	▲ 74	▲ 21
海外食品	363	319	43
調味料・加工食品	-	-	47
冷凍食品(海外)	-	-	3
加工用うま味調味料・甘味料	-	-	0
全社共通費	▲ 148	▲ 127	▲ 20

FY14 9M実績	FY14 1H実績	FY14 1Q実績	FY13 実績	FY12 実績
4,896	3,121	1,515	6,158	6,245
2,194	1,387	668	2,860	3,466
1,498	927	442	1,961	1,957
695	460	225	899	915
-	-	-	-	-
-	-	-	-	593
2,701	1,733	846	3,297	2,778
1,998	1,280	619	2,409	1,989
138	85	41	138	103
564	368	186	749	685
433	259	122	512	516
193	95	47	260	325
229	116	56	292	294
20	16	8	37	65
-	-	-	-	-
-	-	-	-	47
▲ 56	▲ 37	▲ 17	▲ 68	▲ 82
239	164	75	251	191
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
▲ 93	▲ 61	▲ 29	▲ 104	▲ 91

対前年 増減要因または主要施策
【日本食品】 調味料・加工食品は既存品の価値深化と育成領域の成長加速等により増収を見込む。 冷凍食品は2015年2月に実施した価格改定の浸透や競争力の高い製品の販売強化により増収を見込む。
【海外食品】 調味料・加工食品はアセアン、南米を中心にトップラインを引き上げ、現地通貨ベースでの2桁成長により増収を見込む。 冷凍食品はウィンザー社連結影響や既存事業の更なる拡大により、増収を見込む。 加工用うま味調味料、甘味料ともに増収を見込む。 (参考)FY15予想:加工用うま味調味料 555、FY14実績:加工用うま味調味料 542
【日本食品】 調味料・加工食品はスペシャリティに根差した新製品、改定品による新たな価値創出等により増益を見込む。 冷凍食品は価格改定効果に加え、収益性の高い商品へのマーケティング施策の傾注や自社生産比率の増加により増益を見込む。
【海外食品】 調味料・加工食品は現地通貨ベースでの2桁成長と各法人の事業構造強化等より、増益を見込む。 冷凍食品はウィンザー社ののれん償却費が増加するも、FY14に発生した取得に係る一時費用等の反動もあり増益を見込む。 (参考)0億円増益予想の内、加工用うま味調味料で▲5億円

アミノサイエンス 合計	FY15 予想	FY14 実績	差額
売上高	2,932	2,700	231
ライフサポート	1,575	1,491	83
動物栄養	1,082	1,027	55
化成品	-	426	約25
その他	-	37	約5
ヘルスケア	1,357	1,209	147
アミノ酸	-	658	約100
医薬用・食品用アミノ酸	-	約350	-
製薬カスタムサービス	-	約305	-
医薬	420	397	23
その他	-	153	約25
営業利益	180	174	6
ライフサポート	128	143	▲ 15
動物栄養	66	88	▲ 22
化成品	-	103	約5
その他	-	▲ 3	▲ 約0
全社共通費	▲ 40	▲ 44	4
ヘルスケア	52	31	20
アミノ酸	-	71	約10
医薬用・食品用アミノ酸	-	-	-
製薬カスタムサービス	-	-	-
医薬	35	35	▲ 0
その他	-	▲ 37	約15
全社共通費	▲ 42	▲ 42	▲ 0

FY14 9M実績	FY14 1H実績	FY14 1Q実績	FY13 実績	FY12 実績
1,934	1,235	601	2,709	2,642
1,085	671	326	1,424	1,375
741	439	210	941	940
319	216	107	430	382
25	15	8	52	52
848	564	275	1,285	1,267
447	294	143	621	438
約250	約170	約90	約320	約255
約195	約125	約55	約300	約185
281	187	94	512	714
119	82	37	151	113
100	27	12	93	169
81	20	4	42	148
38	▲ 10	▲ 12	2	134
78	54	27	92	65
▲ 3	▲ 3	▲ 0	▲ 15	▲ 19
▲ 31	▲ 20	▲ 10	▲ 38	▲ 34
19	7	8	51	21
45	29	16	58	39
-	-	-	-	-
15	9	5	52	51
▲ 14	▲ 9	▲ 3	▲ 17	▲ 29
▲ 31	▲ 21	▲ 9	▲ 42	▲ 39

対前年 増減要因または主要施策
【ライフサポート】 動物栄養はスペシャリティ製品の拡大等により増収を見込む。 化成品は化粧品との販売とケミカルの新規用途拡大等により増収を見込む。
【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸は、引き続き需要が旺盛で増収を見込む。 製薬カスタムサービスは日・米・欧で増収を見込む。 医薬は自社販売品、提携販売品ともに増収を見込む。 その他はウェルネス事業、スポーツニュートリション事業の増収等により増収を見込む。
【ライフサポート】 動物栄養はスペシャリティ製品の拡大あるも、FY14スレオニン価格高騰の反動影響等により減益を見込む。 化成品はケミカルの新規用途拡大等により増益を見込む。
【ヘルスケア】 医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスともに増益を見込む。 医薬は増収効果あるも、ロイヤルティ収入減等が影響し、前年並みを見込む。 その他はFY14に計上した健康ケア事業の棚卸資産評価損の反動影響等により増益を見込む。

その他	FY15 予想	FY14 実績	差額
売上高	626	633	▲ 7
営業利益	▲ 2	2	▲ 4
全社共通費	▲ 24	▲ 29	5

FY14 9M実績	FY14 1H実績	FY14 1Q実績	FY13 実績	FY12 実績
484	319	159	645	599
1	▲ 1	▲ 1	11	26
▲ 22	▲ 14	▲ 7	▲ 27	▲ 26

対前年 増減要因または主要施策

総合計	FY15 予想	FY14 実績	差額
売上高	12,630	10,066	2,563
営業利益	820	745	74

FY14 9M実績	FY14 1H実績	FY14 1Q実績	FY13 実績	FY12 実績
7,314	4,676	2,275	9,513	9,487
535	285	133	618	712

対前年 増減要因または主要施策

表示上の注意: 非開示
約** 概算値

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
・本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
・本資料の金額は、切り捨てて表示しております。